

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



組織・地域を担う

若者たち

～南瓜の収穫作業をする佐野彰洋さん～
(紹介は8ページ)

2021.11
No.
575

農作業Photos



小豆収穫



土本恵土さん圃場(岐阜)



森脇久幸さん圃場(共立)



澱原馬鈴薯収穫

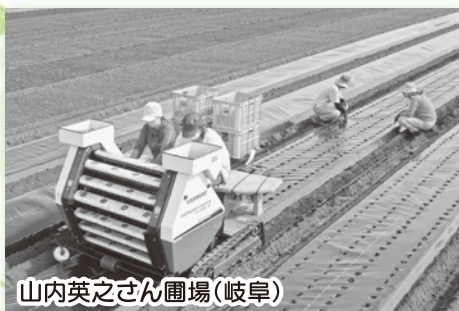


室田祐一さん圃場(岐阜)



尾角光弘さん圃場(富丘)

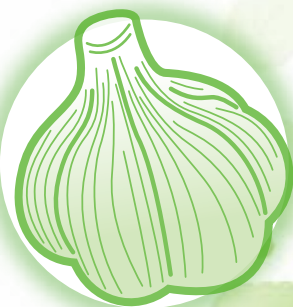
にんにく播種



山内英之さん圃場(岐阜)



齊藤太賀さん圃場(共立)



秋まき小麦播種



田鎖義隆さん圃場(土佐)

農作業も終盤となりました。
農作業事故に気を付け、
残りの農作業を
乗り越えましょう!

農協法公布記念日にあたっての

組合員・役職員へのメッセージ



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長
小野寺 俊幸

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で74年を迎えました。戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じて、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・

自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

◆ ◆ ◆
昨年より、新型コロナウイルスという今まで経験したことのないウィルスが世界的に感染拡大しており、このウィルスは、社会・経済の環境変化にも大きな影響を与えてお

ります。

農業分野においても農畜産物の深刻な需要の減少、東京一極集中の是正などの地方への関心の高まり、SDGsへの貢献、地球温暖化による気候変動への対応として「2050カーボンニュートラルへの挑戦」の具体化（みどりの食料システム戦略の策定）など取り巻く環境の大きな変化も加速しております。

◆ ◆ ◆
かかる状況のもと、このたび3年に1度のJA北海道大会を開催し、【北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に向けて、JAグループが一体となって意志を結集することとしております。

組合員・JA・連合会・中央会が各々の役割を再認識するとともに、JAグループ北海道が一体となって、しっか

りと対話を行い、経営基盤を強化していくことが大会の基本目標であり、着実に実践していくことが社会からの要請にこたえることにもなります。

◆ ◆ ◆
最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



第12回JAところ収穫“菜”大盛況にて終了!!

10月23日（土）に開催された収穫“菜”は大盛況のうちに終了致しました。

ご来場頂いた皆様、誠にありがとうございました。

収穫“菜”の様子は次号でご紹介しますのでお楽しみに！

良質な小豆の出荷に向けて

～常呂町小豆生産組合出荷協議会～

常呂町小豆生産組合（林靖士組合長）は10月6日、JA会議室で「令和3年度出荷協議会」を開き、組合員25人が出席しました。

議案第1号の令和3年度豆調整工場の操業計画についてから、第3号の生産履歴の提出について、YES！clean栽培基準についてまで説明を行った後、林組合長より「YES！clean栽培が生産の基本です。全員が取り組み出来る様努力しましょう」と目標が提案され、慎重審議の結果、全議案とも原案通り承認されました。

最後に、取引先である谷尾食糧工業（株）より「がんばれ常呂町」の手紙と小豆製品が送られた事を紹介しました。



（上）開会の挨拶を行う林組合長

（下）出荷協議会に出席した組合員の皆さん

日頃の感謝を込めて卵をプレゼント

～共同給油所キャンペーン～

常呂町農協漁協共同給油所（山田貢所長）は10月7日から8日の2日間、「たまごプレゼントキャンペーン」を行い、多くの方が給油所を訪れました。

同キャンペーンは、ガソリンと軽油が対象燃料となっており、価格が1ℓあたり5円引きのほか店頭給油10ℓ以上で「ホクレンたまご」をプレゼントするものです。

営業開始から終了時間まで連日たくさんのお客さんが訪れ、賑わいを見せました。



● 愛車の給油をしに来た
東浜地区の田房和彦さん

給油をしたお客さんは「ガソリンが高いのでキャンペーンは助かる」「こんなにたまごを貰えて嬉しい。毎日やってくれたらいいのに」と笑いながら話しました。



● ご家族で給油をしに来てくれた
共立地区の後藤美沙さん
（写真はお子さんの壱郎くん）



● ご家族で給油をしに来てくれた
岐阜地区の松本一紘さん
（写真はお子さんの涼風ちゃん）

JAコネクトをご利用中の皆さんへ

スマートフォンの機種変更後、JAコネクトをご利用いただくには「アカウント」と「あいことば」の入力が必要です。お忘れの場合は、ご利用開始時にお渡ししている「アカウント通知」をご確認いただくか、**管理課**へお問い合わせください！

管理課ではご家族の新規利用も随時受付しておりますので、お気軽にお問い合わせください。





青果事務所からのお知らせ

まるごと玉ねぎスープがリニューアル!!

大人気のまるごと玉ねぎ
スープがリニューアル
して再登場!!
味も三種類になりさらに
美味しさがUP!
ぜひこの機会にご賞味
ください。



コンソメ味

まるごと
玉ねぎスープ
270円

常呂町産の逸品を お歳暮に

これからの季節、お歳暮に常呂町加工品の逸品はいかがですか?
単品でのご用意やその他セットもございます。
お問い合わせは青果事務所(直売所:0152-54-2287)まで。



▲セットA **3,500円**



▲セットB **3,000円**



▲セットC **2,160円**

※価格は税込です。

金融共済課からのお知らせ

一日皆貯金の実施について

一日皆貯金は昭和40年代より毎年、農協法公布
記念日に合わせ積立が始められました。

当時、女性は農業者年金に加入することが出来ず、

「ゆとりのある老後を目指すこと」

「収穫期を終え、経営主が家族に対し一年の労を

ねぎらうこと」を目的に女性部の協力を得て

各戸訪問推進し実施されてきた歴史のある

積立貯金です。

報徳の言葉に『積小為大(せきしょうだい)』

という教えがあり「小さなことも少しずつ積み

重ねていけば、やがて大きなものになるという意味」

ですが、コツコツと積立てた貯金は老後の大切な

備えになります。

地区担当職員が推進に訪問しますので、

ご協力をお願い致します。



目指す管理職像の実践・実現に向けて

管理職研修会開催

JAとくろは9月30日、部長・課長・課長補佐の管理職を対象とした管理職研修会をJA会議室で行いました。

この研修会は令和3年度から取り組んでいる第9次農協経営計画に基づくJA職員人づくりプランとして「目指す職員像・管理職像」の実践・実行を目指すために行われています。今回は7月の研修会に続き、2回目の開催となりました。

使った対話実践を行いました。管理職には、対話を通じて部下の仕事の把握や支援を行う役割のほかにも明るく活気ある職場づくりに努めることが望まれています。JAとくろでは、今後も職員教育による人材育成に努め、全職員が「信頼される職員」を目指していきます。



● (上) 講師を務めた株式会社サポルテ・塚田代表取締役
(下) 研修を受ける管理職職員ら

交通事故防止に向けて

交通安全講習会開催

JAとくろは10月13日、職員を対象に悲惨な事故の注意喚起を促すことを目的とした「交通安全講習会」をJA会議室で行いました。

ならないように、より一層気を引き締めてほしい。万が一事故を起こしてしまっても、落ち着いて対処することが大事」と職員に呼びかけました。

講師として北見警察署企画規制係長の林直樹警部補を招き、道内・管内における事故の発生状況や最近多発している事故の傾向について等のお話を伺いました。講習の中で林警部補は「ここ1カ月では歩行者との接触事故が多い。横断歩道や交差点では対向車に気を配りがちだが、歩行者にも気を配るよう努めてほしい」と話し、最後には「交通事故の加害者にも被害者にも



● (上) 講師を務めた北見警察署企画規制係長の林警部補
(下) 講習を受けた職員ら

退職のご挨拶



経済部 施設コントラ課
伊能 瑞希

紅葉の候、組合員の皆様におかれましては、ご多忙の毎日をお過ごしのことと存じます。さて、私事ではございますが10月末日をもちまして退職致しました。

平成26年度に入組し、金融共済課で2年間・施設コントラ課で5年間勤務させて頂き、多くの経験をすることができた7年間でした。

在職中は何かとご迷惑をお掛けすることもございましたが、皆様の温かいご指導、ご厚情に支えられながら今日まで勤めることが出来ましたことを心から厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、組合員皆様、役職員の皆様の益々のご健勝とご多幸並びに常呂町農業と常呂町農協のさらなるご発展を祈念申し上げ、退職の挨拶とさせて頂きます。誠にありがとうございました。

第8回理事会報告〈9月17日開催〉

◆令和3年度上半期ディスクロージャー誌について

〈報告事項〉

- ◆令和3年度第2四半期監査について
- ◆8月末仮決算報告について
- ◆オホーツク地区JAの概要について
- ◆地図システムの導入について
- ◆第12回JAとこほり収穫“菜”の開催について
- ◆令和3年度経営所得安定対策交付金(営農継続払い)の交付について
- ◆組合員の異動について
- ◆強風による9号倉庫壁の崩落について
- ◆農業委員会報告について



行事予定表

11月1日(月)~11月30日(火)

11月 3日(水)	文化の日
11月16日(火)	第30回JAグループ北海道大会
11月22日(月)	第10回定例理事会
11月23日(火)	勤労感謝の日
11月28日(日)	農休日

〈訂正とお詫び〉

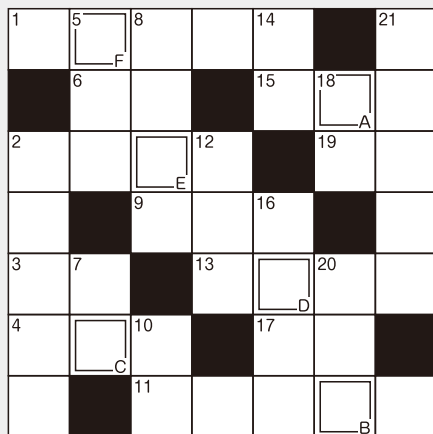
●10月号P5

(誤) 松原 晃治郎さん
⇒ (正) 松久 晃治郎さん

ご愛読頂いている皆様にご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。

Crossword Puzzle ~クロスワード・パズル~

二重マスの文字をA~Fの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょう?



ヨコのカギ

- ①野山の散策を楽しむレジャー
- ②鶏肉の部位の一つ。羽の一部です
- ③イノシシを家畜化したもの
- ④沖縄にいる飛べない鳥、ヤンバル〇〇〇
- ⑥南米にある南北に細長い国
- ⑨定規に刻まれているもの
- ⑪アイボリーとも呼ばれる淡い黄白色
- ⑬スマートフォンにはさまざまなデータが〇〇〇〇されていきます
- ⑮軽くて硬い金属。元素記号はTi
- ⑰ギョーザや中華まんの中身をこう呼ぶことも
- ⑲漢字から作られました

タテのカギ

- ②押し入れの上に作られた物入れ
- ⑤青物〇〇〇へ野菜を卸しに行った
- ⑦祝事に付きものの魚
- ⑧とても小さな滴が降ってきます
- ⑩知識やひらめきを駆使して解きます
- ⑫感謝の〇〇〇を込めて花束を贈った
- ⑭つらいことが続くとこぼしたくなることも
- ⑯船の積み荷を地上に移すこと
- ⑰能ある〇〇は爪を隠す
- ⑲サツマイモには食物〇〇〇が豊富に含まれます
- ⑲陰暦10月の異称

先月の当選者・解答

10月号のまちがい探しの答えは、「2、3、6、9、12」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。

佐藤 壮泰さん(豊川)

※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、新しくなったまるごと玉葱スープ(6個入)をプレゼントします。

読者の声

★毎月楽しく読んでいます。

(匿名希望)

★まちがいを見つけるのがおもしろかったです。

(匿名希望)

農業の楽しさを学ぼう!! 食育事業で収穫体験



収穫後、小学生がデザインした看板の前で一枚

JAところ青年部（今橋博行部長）は10月6日、常呂町内の3つの小学校の3・4年生を対象にした食育事業を実施し、37人の児童が参加しました。

同事業は、常呂町の農業と食の大切さを知ってもらうこと、講師役の部員が農業を伝える力を身に付けることを目的に毎年青年部が行っています。

今年は新型コロナウイルス蔓延による緊急事態宣言のため、春の食育事業（植え付け作業）は中止となりましたが、収穫体験となる秋開催に向け、青年部員が交代で植え付け作業から管理作業までを行い、秋の開

催日には同宣言が解除されたこともあり開催に至りました。

今年植え付けた作物は、玉ねぎや馬鈴薯、小豆、大豆、かぼちゃ、さつま芋の6品目。

青年部員が作物の生育過程や収穫までの管理の大切さなどを伝えながら、児童は一生懸命育てられた玉ねぎや馬鈴薯など6品目の収穫作業を行いました。

参加した児童は「じゃがいも掘りが楽しかった」と笑顔、今橋部長は「農業の楽しさや興味を持ってもらえれば」と話しました。

収穫した農作物は参加した児童たちにプレゼントされました。それぞれ

れの家で穫れたての野菜が料理され、美味しく食べてもらったことでしよう。

なお、ここで穫れた野菜の一部は、JAところ収穫“菜”でもチャリティで来場者に提供されました。この模様は12月号に掲載します。

編集後記

- 寒さも段々と増し、冬が近づいていることをひしひしと感ずります。ハーフパンツに半袖で歩く学生を見て、若いなぁと思うようになった今日この頃です。
- 10月23日に行われたJAところ収穫“菜”には多くの方にご来場いただきまして誠にありがとうございました。収穫“菜”の様子は次号でお伝えしますので楽しみに!

《営農企画課：広報担当》

組織地域を担う若者たち

南瓜の収穫作業をする佐野彰洋さん

今月の表紙は、富丘地区の佐野彰洋さん(33)です。南瓜の収穫作業をしているところを撮影させていただきました。

撮影後に今後の抱負について聞くと、「コロナが収束し、好きなことが好きな時にできるようになった時のためにやりたいことをまとめたい」と、にこやかに話してくださいました。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

